

国外宣教 祈りの課題 2024年8月 (この課題を祈禱会などでぜひご活用ください)

<p>ブラジル <small>はまだけん ようこ</small> 浜田 献・陽子</p>  <p>ブラジリアライアンス キリスト 宣教教会</p>	<p>ヴァルゼンボニータにいる日系約40家族のために。キリストと出会い救いへ導かれるように。浜田先生たちの訪問伝道が用いられるように。教会の日本語教室とサッカー教室の働きのために。子どもたちとその家族が教会につながるように。浜田先生ご家族が守られるようにお祈りください。</p>	<p>タイ <small>はせべあいみ</small> 長谷部 愛実</p> <p>(委託派遣宣教師) チェンマイ 日本語 キリスト 教会</p> 	<p>在住邦人の生活と信仰が守られるように。新たに救われる方々が起こされるように。そのために教会が用いられるように。日本語教会創立20周年記念事業を通して主に栄光が帰され、教会の励ましとなるように。タイにおける宣教とミャンマーでの働きをされている方々のために、お祈りください。</p>
<p>オペレーションワールドより アジア 21 の国</p>	<p>ラオスの教会のために。現地のキリスト者たちが宣教の働きを担っています。訓練を受けた指導者たちの約 90%が1975年に国外に移住したため、今も尚、深刻な牧師不足となっています。適切な指導者が更に起こされ、信仰共同体をみことばによって導くことができるように、祈りましょう。</p>	<p>世界のために</p>	<p>多くの国・地域で選挙が行われ、政治体制が変わるという歴史的な分岐点を迎えているようです。そのような社会的趨勢の中、教会が教会として担うべき役割を果たしていくことができるように。更に配慮しつつも積極的な宣教を展開できるように。御国が広く展開されていくように、祈りましょう。</p>
<p>オペレーションワールドより (最新の祈り) 2024/07/03</p>	<p>インド・タミルナドゥ州(インド南部)のために。ヒンズー教の一部保守派の人たちが反改宗法によって教会を迫害しようとしています。信教の自由が守られるように。社会的圧力を受けながらも成長している教会のために。イスラム教徒とヒンズー教徒への宣教が進められるように祈りましょう。</p>	<p>中国</p>	<p>「一帯一路」政策が2013年から実施され、約10年の月日が経ちました。その遥か前からシルクロード沿いのルートを家庭教会は確保し、宣教のために用いていました。それが今も尚、様々な形で用いられ、家庭教会からの福音宣教が展開されているようです。更に用いられるように祈りましょう。</p>
<p>— モルディブ — フィールド・ズームアップ(※)教会形成・アジア21、そして世界へ…</p>			<p>国外宣教委員会</p>
<p>人口:53万4千人 クリスチャン人口:不明(500人とも) 祈りの課題 モルディブの国教はイスラム教であり、イスラム教以外の宗教は禁止され、国民のほぼ全員がイスラム教徒である。キリスト教の伝道も文書も禁止されている。クリスチャンであることがわかれば、その人は社会から追放され、投獄され、拷問さえ受ける。困難な中にあるモルディブの教会が守られ、モルディブ人に福音が伝えられるように祈ろう。</p>			<p>「主が私の右におられるので／私は揺るがされることがありません。それゆえ、私の心は喜び／私の胸は喜びにあふれます。」(詩篇 16:8b-9a) 主が私たちを守り導き支えてくださるが故に、私たちには喜びがあふれている。8月下旬からフィリピンへの視察が実施されます。私たちに与えられている喜びを分かち合うことができるように、どうぞお祈りください。</p>

(※) フィールド・ズームアップの祈禱課題は「Pray for the World」(IVP Books 2015)を参照。国の人口などのデータは外務省HP及びCIA The World Factbookを参照。